

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	05	01	01	154060	勤労青少年講座開催事業	
総合 計画	重点戦略					
	分野	しごと				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	2	勤労者福祉の向上			
目的	勤労青少年の福祉向上					
対象	勤労青少年					
意図	福祉向上					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○各種講座の実績（勤労青少年ホーム） 教養講座（39講座）、スポーツ講座（10講座）を開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 講座開催回数	回		計画		230	
			実績	226	232	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 講座受講者数	人		目標		1,400	
			実績	1,409	1,272	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
勤労青少年の健全な余暇活動を推奨する目的で多様な嗜好に見合った講座の企画を通じ、青少年ホームの利用者の増加や会員間の交流の機会創出が図られた。 なお、前年度比で講座の開催回数は微増であった反面、受講者数は会員に向けて参加を呼びかけたものの減少となった。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	勤労青少年を対象とした福祉向上に資する事業は他にないため、市が関与して取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	受講者のニーズに合わせて、福祉向上に繋がる支援策の充実を図ることで成果が向上する。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の事業費で運営しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全体の勤労青少年を対象としているため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
若年者のニーズに応じた勤労青少年ホームの各種講座等を実施することにより、勤労者の福祉向上が図られる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388
(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	01	154060	勤労青少年講座開催事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			2,636		2,636
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		2,636		2,636

※特定財源の内訳

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯

青少年の勤労意欲を高め、福祉的及び経済的な向上を図る必要があるため。

事業概要 …目的を實現するための事業手法を記載すること

○各種講座の実績（勤労青少年ホーム）
教養講座（39講座）、スポーツ講座（10講座）を開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①各種講座の開催 1,140千円

【概要】各種講座の開催、講師謝礼

【講座内容】

（全1回開催×13講座）

・アザールアートフラワー・アロマクラフト・ホリバーグを作ろう・惣料理入門・初めてのフルキッチン
・梅酒作り入門・クッキング・ふわっふわパンケーキ・アジ料理・きのこの炊き込みご飯・オ
シヤレさんの極厚サンドウィッチ

・クリスマス料理・筆跡診断

（全2回開催×6講座）

・マフアート・今さら聞けない料理の基本・糖質オフ&痩せる食べ方・メイク・美眉・ハ
ルアート

（全3回開催×6講座）

・パーソナルスタイル・セルフケア・ダンス・骨格診断・大人のためのマナー&ライフ・料理

（全4回開催×4講座）

・ボイトレ・バレトン・ピラティス・ニードルフェルト

（全5回開催×2講座）

・簡単手作りパン（前期・後期）・パソコン

（全6回開催×1講座）

・レジャークラフト（前期・後期）

（全8回開催×1講座）

・季節の料理

（全9回開催×1講座）

・ビーチボールバレー

（全10回開催×2講座）

・硬式テニス（前期）・リラクゼーションヨガ（前期）

（全11回開催×2講座）

・硬式テニス（後期）・リラクゼーションヨガ（後期）

②各種講座開催委託 1,143千円

【概要】各種講座の開催、講座運営を委託

【教養講座】

・レベル別英会話・パリっコスイーツ

・ネイルアート・ヘアアレンジ・浴衣の着付け・整理収納

・気軽に楽しむ本格カクテル

【スポーツ講座】

・体幹トレーニング・ボディバランス（前期・後期）・トランポリン（前期・後期）

・骨盤エクササイズ・筋膜リリース・ボディメイク

③事務費等 353千円

イベント用消耗品、リーフレット印刷 312千円

郵便料 41千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	05	01	02	154030	勤労者福祉向上事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-6	雇用環境の充実			
	施策	2	勤労者福祉の向上			
目的	勤労者の福祉向上					
対象	勤労者、中小企業					
意図	福祉や経済的な増進					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○勤労者福祉推進 花巻市共同福祉施設管理運営補助金 中小企業退職金共済事業補助金 ○勤労者資金貸付事業 勤労者貸付の預託金 資金の種類（協調倍率） 生活安定資金（2倍）、住宅資金（2倍）、教育資金（3倍）						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 中小企業退職金共済補助金交付者数	人		計画	995	995	
			実績	1,174	1,225	
② 預託金	千円		計画	111,000	106,500	
			実績	106,500	80,000	
③ 花巻市共同福祉施設の利用日数	日		計画	150	150	
			実績	133	158	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 中小企業退職金共済加入者数	人		目標	2,700	3,000	
			実績	2,863	2,863	
② 融資を受けている勤労者数	人		目標	120	120	
			実績	105	73	
③ 花巻市共同福祉施設の利用者数	人		目標	6,000	6,000	
			実績	5,655	7,453	
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)									
中小企業退職金共済制度については、制度自体はもとより本補助金の利活用を中小企業退職金共済事業本部と連携して市内事業所へPRした結果、補助金交付者件数や加入者が徐々にではあるが増加している。一方、勤労者資金貸付事業については、金融機関が展開する商品の方が融資条件（貸付利率、融資枠、償還期間）が優位にある生活安定資金及び住宅資金の新規貸付を行っていないことから預託金や貸付実行数が減少したが、東北労働金庫への預託金を通じ、既に融資を受けている市民へスムーズな償還が可能となるよう支援を行っている。また、勤労者福祉施設については、勤労者を初めとする多くの市民に利用されているが、利用日数が花巻総合御センターが開館する日の半分程度に留まっていることから、利用日数の増加を目指していく。									
目的妥当性	<table border="1"> <tr> <th>公共関与の妥当性</th> <td>勤労者を対象とした福祉向上に資する事業は他にないため、市が関与して取り組む必要がある。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 妥当である</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 妥当でない</td> <td></td> </tr> </table>	公共関与の妥当性	勤労者を対象とした福祉向上に資する事業は他にないため、市が関与して取り組む必要がある。	<input type="radio"/> 妥当である		<input type="radio"/> 見直し余地がある		<input type="radio"/> 妥当でない	
公共関与の妥当性	勤労者を対象とした福祉向上に資する事業は他にないため、市が関与して取り組む必要がある。								
<input type="radio"/> 妥当である									
<input type="radio"/> 見直し余地がある									
<input type="radio"/> 妥当でない									
有効性	<table border="1"> <tr> <th>成果の向上余地</th> <td>勤労者のニーズに合わせて、福祉向上に繋がる支援策の充実を図ることで成果が向上する。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 向上余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 向上余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	成果の向上余地	勤労者のニーズに合わせて、福祉向上に繋がる支援策の充実を図ることで成果が向上する。	<input type="radio"/> 向上余地がある		<input type="radio"/> 向上余地がない			
成果の向上余地	勤労者のニーズに合わせて、福祉向上に繋がる支援策の充実を図ることで成果が向上する。								
<input type="radio"/> 向上余地がある									
<input type="radio"/> 向上余地がない									
効率性	<table border="1"> <tr> <th>事業費・人件費の削減余地</th> <td>補助金の交付が主であり、必要最小限で行っているため、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 事業費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 人件費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> どちらも削減余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	事業費・人件費の削減余地	補助金の交付が主であり、必要最小限で行っているため、削減の余地はない。	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある		<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある		<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
事業費・人件費の削減余地	補助金の交付が主であり、必要最小限で行っているため、削減の余地はない。								
<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある									
<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある									
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない									
公平性	<table border="1"> <tr> <th>受益と負担の適正化余地</th> <td>市内全体の勤労者や中小企業を対象としているため、受益機会は均等である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 適正である</td> <td></td> </tr> </table>	受益と負担の適正化余地	市内全体の勤労者や中小企業を対象としているため、受益機会は均等である。	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある		<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある		<input type="radio"/> 適正である	
受益と負担の適正化余地	市内全体の勤労者や中小企業を対象としているため、受益機会は均等である。								
<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある									
<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある									
<input type="radio"/> 適正である									
総合評価 …上記評価結果の総括									
中小企業退職金共済に未加入の市内事業所も多くあるため、より多くの事業所に加入していただき、勤労者福祉の向上が図られるよう継続した支援が必要である。									

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	154030	勤労者福祉向上事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		113,919	84,596		△ 29,323
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	106,500	80,000		△ 26,500
	一般財源	7,419	4,596		△ 2,823

※特定財源の内訳	
勤労者生活安定資金預託金返還金	1,000千円
勤労者住宅資金預託金返還金	11,000千円
勤労者教育資金預託金返還金	68,000千円

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
雇用環境を充実させます。

事業開始の背景・経緯
労働者の勤労意欲を高め、生産性の向上に繋げるためには、福祉的及び経済的な向上を図る必要性があるため

事業概要
○勤労者福祉推進
花巻市共同福祉施設管理運営補助金
中小企業退職金共済事業補助金
○勤労者資金貸付事業
勤労者貸付の預託金
資金の種類（協調倍率）
生活安定資金（2倍）、住宅資金（2倍）、教育資金（3倍）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ① 花巻市共同福祉施設管理運営補助金 1,300千円
第1工業団地内にある花巻共同福祉施設（卸センター体育館）について、協同組合花巻総合卸センターに運営管理を委託。
- ② 中小企業退職金共済補助事業 3,296千円
○ 交付対象
市内に事務所若しくは店舗又は工場を有し、申請するときに事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者。
○ 補助基準
従業員1人の納付済掛金に対し、3年間を限度として1か月あたり300円を補助金として交付する。
○ 補助金交付
12か月を超えない範囲で掛金に対して年1回行う。
- ③ 勤労者資金貸付事業 80,000千円
臨時又は緊急に資金を必要とする方へ生活資金、大学等へ進学に資金が必要な方に教育資金を貸し付けるため、金融機関に預託金を支出する。
○ 勤労者生活安定資金預託金 1,000千円 (協調倍率2倍)
○ 勤労者住宅資金預託金 11,000千円 (協調倍率2倍)
○ 勤労者教育資金預託金 68,000千円 (協調倍率3倍)